

障害者の職場定着推進技法の開発に関する調査研究

障害者の雇用対策は、今後雇用促進のみならず、職場定着にも力を注いでいくことが大切である。職場定着の状況は、障害の種類・程度によりかなり異なるが、安易に離転職をくり返す者も多いといわれている。

そこで本研究では、企業における職場推進チームの活動の実態及び障害者種類の離転職状況を把握し、さらに定着の成功事例、失敗事例を障害別に調査し、分析した。これらの結果をもとに職場定着推進技法のマニュアルを開発した。

◆研究委員会メンバー

- 〈主 査〉篠原 幸哉 足利工業大学 教授
〈副 査〉木村 周 筑波大学 教授
〈委 員〉徳田 英明 横浜商科大学 助教授
西嶋 美那子 日本アイ・ビー・エム(株)
人事・人材管理イコール・オポチュニティー推進担当次長
〈事務局〉秀島 敬一 (財)雇用開発センター 常務理事
戸村 惇夫 (財)雇用開発センター 研究調査部長
松村 栄二 (財)雇用開発センター 研究調査部
荒井 直子 (財)雇用開発センター 研究調査部

◆目 次

- 第 1 章 調査研究の目的と方法
第 2 章 障害者の職場定着の現状—アンケート・ヒアリング調査結果から—
第 3 章 障害者職場定着推進チームの活動
第 4 章 障害者職業生活相談員の選任と活動状況
第 5 章 職場定着の要因
第 6 章 職場定着の事例
第 7 章 結語と提言
付属資料